

自殺の近年の動向と自殺対策の課題について

令和3年度
自殺対策白書
「自殺対策推進
センター」分析

●令和元年の自殺者数は統計開始以来最小であったが、令和2年は11年ぶりに増加した。

●令和2年の6月までは減少傾向であったが、9月以降大きく増加している。著名人の自殺が社会に与えた影響であると思われる。

●令和2年は女性の自殺が著しく増加している。職業別では「被雇用者・勤め人」で増加し、原因・動機として「勤務問題」が増加している。また「学生・生徒の自殺の増加」も見られた。特に児童・生徒の自殺の時期については一斉休校や学校再開時期との関連性が示唆された。

府中市の自殺の
特徴及び取組

●令和2年の自殺者数は40名。過去5年の平均は38名のため、増加している。無職独居男性40～50代の自殺率が突出して高い傾向が続いている。

●令和3年暫定値：4月～9月までの自殺者数が14名。うち5名（36％）が女性で40代～50代が80％を占める。令和2年の全自殺者数における女性の割合は30％。令和3年の上半期に女性の自殺が増加。

●若年層向けに「教職員対象研修会」の開催や「SOSの出し方に関する教育」を実施。年間数件ではあるが、他課や学校等から中学生による自殺のほのめかしや未遂者対応の助言を求められる事例が生じている。また、高齢部門やDV加害者等の対応の助言も求められている。

●有職者向けとして、市HPで相談先を周知したり、パンフレット、リーフレットを市内公共施設や商工会議所、ハローワークへ配架等といった取組のみである。



課題

- ①会議の実施、リーフレットの配架等を通じ、生活保護主管課、納税課、ハローワークと連携しているが、今後無職独居男性や女性への支援を充実させるため、取組の検討が必要。
- ②商工会議所の刊行物の記事掲載やリーフレットの配架以外にも職域との連携を推進したい。
- ③支援者向けの支援が必要とされている。